

## 単元名 7 価値を生み出す ー誰かの代わりに

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読むことができる。  
 (2) 文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめることができる。  
 (3) 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとする。

## 標準的な展開例

12210216\_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 筆者の考えを確認しながら読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題名に関連した質問について考え、文章の内容に関心をもつ。</li> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 筆者の考えを確認しながら読む。</li> <li>○ 観点に沿って筆者の考えを確認しながら、全文を通読する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共感（納得できる）</li> <li>・ 反対（納得できない）</li> <li>・ 疑問（わからない点）</li> </ul> </li> <li>○ 語句の確認をする。</li> <li>○ 書き込んだところを話し合う。</li> <li>○ 本時のまとめをする。</li> </ul> <p>2 筆者の考え方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 筆者の考え方について話し合おう。</li> <li>○ 文章を三つのまとまりに分ける。</li> <li>○ 「無条件の肯定を求める」とはどういうことで、なぜ「ちょっと危うい」のか話し合う。</li> <li>○ 「自立」と「独立」、「依存」と「支え合い」の違いについて、筆者の考えを読み取る。</li> <li>○ 「『誰かの代わりに』という意識」とはどういうことでなぜそれが大切か話し合う。</li> <li>○ 本時のまとめをする。</li> </ul> <p>3 社会や人間に対する筆者の考えについて、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 社会や人間に対する筆者の考えについて、自分の考えをまとめよう。</li> <li>○ 筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。</li> <li>○ 話し合ったことを基に、社会や人間に対する筆者の考え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 義務教育最終単元にあたり、単元名やそのリード文から、自分の生き方のこれまでを見つめ、これからを考えていくことを示す。          （質問例）          ① 「誰かの代わりに」に続く言葉を考えてみましょう。          ② 自分にしかないものは何ですか。どんなときにそのようなことを考えましたか。</li> <li>・ 教師による範読か、国語指導CDを活用してもよい。</li> <li>・ ア共感（納得できる）、イ反対（納得できない）、ウ疑問（分からない点）などの観点に沿って、本文に線や記号を書き込みながら読ませる。</li> <li>・ 抽象的な概念を表す語句を辞書で調べさせ、文脈上での意味を確認させる。</li> <li>【評】語句を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 3～4人グループで、各自が書き込んだところを発表させ、話し合わせる。</li> <li>【評】書き込んだところを発表し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 文章の読みを通して、自分のこれからの生き方について考えていくことを示し、読みの過程で気付いたことや考えたことをノートにメモするように促す。</li> <li>・ 前時の学習を振り返り、本教材を通して、自分の生き方について考えていくことを確認する。</li> <li>・ 「序論」・「本論」・「結論」などの用語や、まとまりの働きや役割などを振り返らせたい。</li> <li>・ 本文を三つのまとまりに分けさせ、その根拠を述べさせる。</li> <li>・ 自分の日常で、筆者のいう危うさに陥っていることはないか、自分の経験に引き寄せて考えさせたい。</li> <li>・ 「自立」という語から受けるイメージや、辞書的な意味を確認しておく。</li> <li>・ 「自立」という語を説明するために筆者が用いた語句に着目し、「自立」を重層的に捉える筆者の論の展開を読ませたい。</li> <li>・ 「誰かの代わりに」を「責任を負う」という意味で捉える筆者の考えを理解させる。</li> <li>【評】「『誰かの代わりに』という意識」について話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ キーワードを確認しながら、改めて筆者の主張を整理させる。</li> <li>・ これまでの学習内容を確認する。</li> <li>・ 第1時に書き込んだところを振り返り、自分の考えをまとめさせる。</li> </ul>

について、自分の考えをもつ。

○学習を通して考えた社会や人間に対する考えを交流し合う。

○これまでの学習を振り返る。

- ・筆者の主張を踏まえ、自分の考えをまとめさせる。
- ・進路選択の岐路に立つ時期に、社会の一員として、自分はどのように生きていくのかを考えさせたい。
- 【評】社会や人間に対する筆者の考えについて自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・社会や人間に対する考えをグループで交換させる。
- ・友達の見解を聞くときは、自分の意見と比べたり重ねたりしながら聞くことを意識させたい。
- 【評】自分の考えを交流し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する

#### 【 備 考 】

中学校3年生の時期には、社会に目が向く一方で、自分という存在について深く考え、苦しむことも多い。そこで、自分の中にだけ目を向けるのではなく、他の人たちとの関わりの中で自分という存在について考えることの大切さを説く論説文を通じて、社会的な関わりが希薄だといわれる中学生に、人との関わりの中で、新しい価値を創造することの重要性などに気付かせたい。

また、課題に沿ってグラフを分析し、論理の展開に注意して小論文を書くことで、情報を客観的に読み取り、論理的に考えて表現する力を伸ばしたい。